



平成28年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 日本マイクロニクス
 コード番号 6871 URL <http://www.mjc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 長谷川 正義
 (氏名) 齋藤 太

TEL 0422-21-2665

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第1四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	7,290	9.9	745	0.5	803	△7.5	440	△37.2
27年9月期第1四半期	6,632	△17.5	741	△34.4	868	△32.8	700	△31.1

(注) 包括利益 28年9月期第1四半期 453百万円 (△67.1%) 27年9月期第1四半期 1,380百万円 (0.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第1四半期	11.12	11.05
27年9月期第1四半期	17.92	17.61

(注) 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第1四半期	37,247		23,276		58.8	
27年9月期	40,048		24,285		56.6	

(参考) 自己資本 28年9月期第1四半期 21,914百万円 27年9月期 22,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	55.00	55.00
28年9月期	—	—	—	—	—
28年9月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 平成27年9月期の期末配当金の内訳 普通配当50円00銭 記念配当5円00銭(創業45周年記念配当)
 当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
 平成27年9月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
 2. 平成28年9月期(予想)の第2四半期末配当金の内訳 記念配当5円00銭(東証一部上場記念配当)

3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,800	△6.7	650	△72.3	650	△73.8	300	△84.6	7.58
通期	30,000	△7.7	3,000	△51.2	3,000	△53.8	2,100	△63.0	53.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期1Q	40,025,316 株	27年9月期	40,025,316 株
② 期末自己株式数	28年9月期1Q	425,164 株	27年9月期	457,448 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期1Q	39,576,081 株	27年9月期1Q	39,068,148 株

(注)当社は、平成27年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。
株式数については、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成28年2月4日に当社ホームページへ掲載予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかな景気拡大が続いておりますが、中国経済の減速や原油価格の急落に加え、欧州・中東の地政学リスクの高まりもあり不透明な状況が続きました。一方、日本経済は、外部環境の不透明な状況から設備投資においては慎重な状況が見られましたが、各種政策の効果もあり企業収益に改善が見られ、一部に弱い動きが見られるものの景気は緩やかに改善いたしました。

半導体市場においては、例年の季節的要因による調整等に加え、スマートフォンやタブレット端末向けの需要鈍化が見られ、先行き不透明感が強まりました。

FPD市場においては、スマートフォン等の最需要期を過ぎ、一方で中国での設備投資が積極的に行われたことから、パネル価格の下落や供給過剰懸念が一段と進みました。

このような状況の下、当社グループは、引き続き中期経営計画『Challenge17』を推進し、新たな成長のステップを確実に踏むための地盤づくりを行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高7,290百万円(前年同期比9.9%増)、営業利益745百万円(前年同期比0.5%増)、経常利益803百万円(前年同期比7.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益440百万円(前年同期比37.2%減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

<セグメントの状況>

(各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。)

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① プローブカード事業

プローブカードは、スマートフォンやタブレット端末向けモバイルDRAM用MEMS型アドバンスプローブカードの需要が市況の季節的要因から低調に推移しましたが、高水準の受注残を消化し前年同期比増となりました。利益面におきましては、積極的な開発投資を行った結果、前年同期より減益となりました。

この結果、売上高は6,413百万円(前年同期比8.1%増)、セグメント利益は1,276百万円(前年同期比6.2%減)となりました。

② TE事業

半導体検査装置及びプローブユニットは、堅調な受注・売上となりましたが、LCD検査装置は、顧客都合により装置の立ち上げが遅れたこと等もあり、低水準な売上となりました。利益面におきましては、前期までにLCD関連の構造改革が完了したこともあり、黒字となりました。

この結果、売上高は877百万円(前年同期比25.3%増)、セグメント利益は95百万円(前年同期は57百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,801百万円減少し、37,247百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少2,873百万円等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,791百万円減少し、13,970百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少589万円、短期借入金と長期借入金を合わせた借入金の減少534百万円等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,009百万円減少し、23,276百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少648百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月16日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,231	13,358
受取手形及び売掛金	7,054	7,368
製品	526	387
仕掛品	2,182	1,933
原材料及び貯蔵品	758	775
その他	877	721
貸倒引当金	△61	△61
流動資産合計	27,569	24,484
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,066	3,935
機械装置及び運搬具(純額)	1,979	1,925
その他(純額)	2,937	3,024
有形固定資産合計	8,983	8,885
無形固定資産	951	936
投資その他の資産		
投資有価証券	2,002	2,414
退職給付に係る資産	35	31
その他	737	726
貸倒引当金	△230	△231
投資その他の資産合計	2,543	2,939
固定資産合計	12,478	12,762
資産合計	40,048	37,247
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,428	3,839
短期借入金	2,603	2,381
未払法人税等	307	159
賞与引当金	908	392
役員賞与引当金	85	-
製品保証引当金	474	463
その他	2,848	2,835
流動負債合計	11,655	10,071
固定負債		
長期借入金	1,516	1,203
退職給付に係る負債	1,790	1,813
その他	799	882
固定負債合計	4,106	3,899
負債合計	15,762	13,970

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	6,054	6,052
利益剰余金	10,015	9,367
自己株式	△216	△201
株主資本合計	20,871	20,237
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,087	1,312
為替換算調整勘定	698	361
退職給付に係る調整累計額	△0	2
その他の包括利益累計額合計	1,785	1,676
新株予約権	80	96
非支配株主持分	1,547	1,265
純資産合計	24,285	23,276
負債純資産合計	40,048	37,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)
売上高	6,632	7,290
売上原価	4,153	4,335
売上総利益	2,479	2,955
販売費及び一般管理費	1,737	2,210
営業利益	741	745
営業外収益		
受取利息	8	14
受取配当金	2	3
受取賃貸料	11	13
為替差益	118	40
その他	7	3
営業外収益合計	149	74
営業外費用		
支払利息	15	12
休止固定資産減価償却費	3	3
その他	3	0
営業外費用合計	22	16
経常利益	868	803
特別利益		
固定資産売却益	4	7
特別利益合計	4	7
特別損失		
固定資産除却損	0	9
特別損失合計	0	9
税金等調整前四半期純利益	872	801
法人税、住民税及び事業税	100	117
法人税等調整額	△4	17
法人税等合計	96	134
四半期純利益	776	666
非支配株主に帰属する四半期純利益	75	226
親会社株主に帰属する四半期純利益	700	440

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成26年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	776	666
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	373	225
為替換算調整勘定	218	△440
退職給付に係る調整額	12	2
その他の包括利益合計	604	△212
四半期包括利益	1,380	453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,256	330
非支配株主に係る四半期包括利益	123	123

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	TE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,932	700	6,632	—	6,632
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,932	700	6,632	—	6,632
セグメント利益又は損失 (△)	1,360	△57	1,302	△561	741

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△561百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	プローブ カード事業	TE事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,413	877	7,290	—	7,290
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,413	877	7,290	—	7,290
セグメント利益	1,276	95	1,372	△627	745

(注) 1. セグメント利益の調整額△627百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。